

区内交差点の安全対策（犬蔵及び潮見台浄水場前）について

川崎市議会議員 矢沢たかお

今年度中での改良が決まった犬蔵交差点

毎朝650人超の児童 信号機の導入に向けて警察と協議を行なっています

生徒が横断する犬蔵交差点（尻手黒川）の安全対策については、これまで「右折レーンの延伸をす

歩行者と車両を分離する」事により、交差点処理

歩車分離方式の導入に向けての交渉を進めてきました。先般の

議会では、当時の市の答弁で「最適となる交差点年度中に川崎市側で道路

処理の解析を今年度実施し、引き続き歩車分離式改良等の工事を実施した

後、警察側で信号機を

「右折車両分離方式」に変更していく事が決まりました。

潮見台浄水場前

バス停付近も前進

地域から強く要望のある「潮見台浄水場前バス

停付近の交差点」への押しボタン式信号機の設定

についても、この間、警察との協議を進めてきま

した。

信号機導入にあたっては、警察からの指摘等を

踏まえて、交差点部以外の単路部に設置できるよ

う、川崎市側で市道管生433号線道路改良事業



潮見台浄水場前バス停付近の様子

における歩道の一部見直しが決定。警察からの設置に向けた指摘はクリアされた為、残るは「警察として押しボタン式信号機を導入する事」のみとなりました。

これまで区内交差点の改良に向けて、水面下での警察での協議等動いてまいりましたが、ようやく幾つかの交差点では改良に向けた方向性が定まりました。今後も交通管理者である警察と連携し、通学路の安全対策に努めて参ります。

矢沢たかお
●川崎市宮前区初山生まれ(35歳)
菅生小、菅生中卒 / 法政大学
第二高等学校卒 / 法政大学情
報科学部卒 / 商社系IT企業
2019年4月2期目当道

宮前区初山1-20-12
Tel 044-976-2727

矢沢たかお 検索

